

# 福祉サービス第三者評価基準

## 【 共通版 】 H28年4月1日改定

### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		自己評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・ <b>b</b> ・c
<p><b>評価概要</b>                      入園のしおり、重要事項説明書に理念・基本方針について明記し、保護者に対しては入所前の面談や一時保育の利用案内の際に説明、毎年、重要事項説明書において理解と同意を得ている。保育業務支援システム「コドモン」を利用し保護者への周知も図られている。職員については、入社時に配布される行動手帳に、理念や基本方針が示してある為、日々の業務に当たる際の行動規範になっている。理念に沿った月目標を掲げミーティングにおいて振り返りが行われている。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		自己評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	<b>a</b> ・b・c
<p><b>評価概要</b>                      経営会議や幹部ミーティングにおいて国、鹿児島県、鹿児島市の事業に関する通知などを積極的に活用し、また各種団体などの情報を的確に把握、評価し職員全体会議で情報を共有、地域の利用者ニーズにこたえるように日々研鑽を図っている。毎月担当税理士事務所と会計などの把握と確認を行っている。決算を職員に通知・説明している</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	<b>a</b> ・b・c
<p><b>評価概要</b>                      当社の基盤である理念とそれを具体的に行うための行動指をもとにすべての職種において、また事業を超えて理念の把握を行っている。毎月の全体職員会議において共有化を行う仕組みを作っている。</p>		

#### I-3 事業計画の策定

		自己評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	<b>a</b> ・b・c
<p><b>評価概要</b>                      理念に沿った保育目標の実現に向けて経営状況、職場環境の改善などを中心とした安定経営の確立に向けた中長期計画が作成されている。計画は年度毎に次年度に向けた評価見直しが行われている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	<b>a</b> ・b・c
<p><b>評価概要</b>                      毎年度予算として具体的な数値設定を行い、全職員に周知している。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	<b>a</b> ・b・c

<p><b>評価概要</b> 事業計画については、全職員に周知するようにしている。また、未確定な事業については、理事会にて事前に協議を行い、議事録をこうかいすることとしている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	Ⓐ・b・c
<p><b>評価概要</b> 事業計画は、保護者がいつでも見れるように掲示行っている。経営計画については、保育行政が認可制のため、認可の確定がえられてからの公示となっている。わかりやすい資料作成については今後検討する。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
<p><b>評価概要</b> 毎月の月案において職員各自で自己評価を行い、他の職員へ周知をしている。また、毎月の目標を明確に立てることにより職員のベクトルを合わせて保育を行うように心がけている。毎月のミーティングでは各自の目標に対する実践・気づき（反省）について公表することによって職員間での学びにもつながっている。また、毎年各自自己評価を行い、主任・副主任で1次評価を行い、理事長、園長が2次評価を行うようにしている。また、事例発表や外部講師による講演なども取り入れ、互いの学びになっている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
<p><b>評価概要</b> 各ミーティングの中で運営についてや行事や日々の保育において改善が必要な点や課題についての話し合いを定期的に行い、職員間で改善策の検討や改善に向けての取り組みを行っている。設備に関しては、園庭の遮光ネットの設置を計画的に行った。また、今後は人工芝の劣化による問題も出ているので、改善計画を行っている段階である。プライバシー保護の観点からユニットハウスの設置も行い、面談や隔離対応などに活用している。未満児クラスの増築部分の室温の上昇の問題があり、扇風機も設置した。他保育室も検討中。</p>		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<p><b>評価概要</b> 管理規定などにより、明確に規定している。月1回幹部ミーティングを開催している。避難訓練の計画書を確認し、出来るだけ参加するようにしている。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p><b>評価概要</b> 利害関係者との適切な関係を保持するように、必要時には話し合いを設けている。必要な研修会へ出席することにより研鑽を深め、園内のミーティングを通して職員への周知を図っている。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・Ⓑ・c
<p><b>評価概要</b> 園内で事例発表を行い、事例検討して、保育の質の向上と方針の共有を行っている。また、課題の明確化に取り組んでいる。</p>		

13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・(b)・c
<p>評価概要 公認会計士や社会保険労務士等の協力を得ながら、業務をより効率的に行うようにしている。また、園児数や職員のライフバランスに合わせて環境整備に努めている。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・(b)・c
<p>評価概要 定員増員のための人材確保のために採用活動を行うとともに、運営に於いて必要な人材の確保に努めている。実習生の積極的な受け入れを行い、将来の人材確保及び育成を実施している。必要な基本的な考え方は、【ショコラ行動手帳】に基づき日々のミーティングなどで理念の共通理解ができるように努めている。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
<p>評価概要 当社の理念を含めて、方針などは行動手帳に明確に記載している。また、年1回の職員面談と臨時面談にて職員の意向や評価を組み上げるようにしている。人事基準は、各種規定にて明確に定めている。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	(a)・b・c
<p>評価概要 職員の労働状況について管理し、有休取得状況や時間外労働についてもしっかりと見直しをし職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。結婚や妊娠など女性でも働きやすい職場のため、職員への意識づくりや環境整備を常に考え取り組んでいる。仕事だけでなく、私生活の悩みも相談できる体制も確立されている。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a)・b・c
<p>評価概要 年1回の個人面談を行い行動手帳に基づく、職員の短期目標や長期目標についての聞き取りを行ったり、毎月のクラスの目標に対する実践や気づきを確認して、職員一人ひとりの達成度の確認などを行っている。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・(b)・c
<p>評価概要 当社の行動手帳において、期待する職員像を明らかにしている。また、年間計画を通じて教育研修を行っている。個人ごとの研修目標を現在規定していないため、今後個人別目標を作成していきたい</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・(b)・c
<p>評価概要 主任・副主任を中心に各職員に必要なかつ適切な研修が受けられるように、外部研修については年間計画を作成し、必要な研修に参加できるように配慮している。また、研修で学んだ内容については、全体ミーティングで報告してもらうとともに、研修報告書を回覧することで理解を深めるようにしている。また、全体ミーティングで外部講師による講習も実施している。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	(a)・b・c
<p>評価概要 マニュアルの作成を行い、受け入れを行っている。また、保護者に対しては掲示板でのお知らせを行ったり、実習生との事前のオリエンテーションを利用して指導担当者を実習の進め方に関する打ち合わせができるように配慮している。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		自己評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>日本財団のHPを利用して、法人・保育所の現況報告を行っている。また、第三者評価の受審結果や日々の保育の内容については保護者の方が手に取れる場所に設置し、閲覧ができる状態にしている。しかし、地域に向けての情報発信については不十分である。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>労務・経理については公認会計士や社会保険労務士の助言を得ながら業務を遂行している。また、毎年職員に向けての決算報告を行っている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流, 地域貢献

		自己評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>町内会に入り、町内会の行事などにも参加するよう心掛けている。また、園外散歩を通して地域の方への挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図っている。地域の高齢者施設への訪問なども連絡を取り合いながら行っている。また、今年度は秋祭りを利用し、園庭解放を行う予定である。地域の子育てサロンの活動にも年2回取り組んでいる。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>ボランティアの受入のマニュアルを作成し、受け入れ態勢を整備している。職場体験などの機会を設けることができていないが、教育機関と連携をし、積極的にボランティアを受け入れるよう取り組みをしていきたい。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>必要に応じて、保健所・児童相談所・かかりつけ医等と連携が取れるように体制を整えている。連絡会等をとおして協同的に連携を取るには至っていないが、今後体制づくりを行い、密な連携が取れるよう取り組む予定である。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>地域の子育てサロンへの取り組みを計画・実施している。また、災害時に避難場所として活用できるように準備をしているが、地域への発信と言う点においては不十分などところである。また、10月に計画している秋祭りでは園庭解放を行い、地域とのつながりを計画している。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・(b)・c
<p>評価概要</p> <p>一時保育の受入を積極的に行うことにより地域の福祉ニーズに対応して。掲示板での保育園での取り組みを紹介することによって問い合わせなどがあり、様々なニーズを捉えることができている。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

## Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>基本的には縦割りで保育を行っているが、年齢別での保育の際には少人数制を取り入れており子ども一人一人の受容できる環境を手厚くしている。性差については名前の呼び方の統一や固定概念のない保育を心掛けている。異文化の観念を持たれている保護者の方には個別で面談を行い理解を図っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>規程の整備を行い、規定に基づいた保育を実践するようにしている。プライバシー保護については全職員研修を行い、個人情報の取扱いについて共通の理解、対応を行っている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>当園の基本情報や基本方針については、鹿児島市保育園協会やりぼん館などに情報開示を行っている。また入園前の資料については、毎年改訂をしよりよいものを提供できるようにしている。利用希望者や見学者については、十分な時間を取り可能であれば子ども達と触れ合うことができるように配慮している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>保育内容や時間については、年度終わりに重要事項説明書を用いて説明を行ったり、随時コドモンで知らせるなどの対応を行っている。また、年度初めの参観日の日に保護者の方への保育における説明会を行い質疑応答などの場を作り意見交換を行う配慮を行っている。(各クラス毎・全体)特に配慮が必要な保護者の方については、資料を基に個別に面談を行ったりこまめな声掛けをしたり対応を行っている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>転園・卒園については、鹿児島市の指定する保育所保育要録を事前に送付するようにしている。相談方法等についての文書の配布はしていない。また、療育施設などの利用にあたっては、保護者の方の同意の下、施設訪問や電話での情報交換などを積極的に行っている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子ども満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>子どもの育ちについては気になる事があれば毎月のミーティングで取り上げ、保育士間で相談した上で子どもたちが満足のいく生活が送れるように配慮している。また、毎年12月に保護者向けにアンケートを実施しその結果をまとめている。必要であれば全体ミーティングで共有事項として確認した上で保育への還元を行っている。また、アンケート結果をもとに、コドモンの導入を行うことで改善できた部分もある。必要に応じて個人面談を行い、保護者の方と直接話をする機会を設けている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>苦情解決の体制を整えており、入園時の面談などでお渡しする入園時のしおりや意見箱の設置、アンケート等による受付を行っている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・ <b>(b)</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>送迎の際に保護者とコミュニケーションを取るようにしている。また、ユニットハウスの設置を行い意見を述べやすい環境に配慮している。他には毎日の連絡帳や運営アンケートでも意見をいただけるように配慮している。相談などの方法や相手などは重要事項説明書において周知している。</p>		

36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 対応マニュアルを作成し、適切に対応している。毎月のミーティングだけでなく、必要に応じて幹部への報告があり、随時検討を行って対応している。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 ヒヤリハット報告・事故報告の整備を行い、事故があった際には職員間でコドモンにて共有できるようにしている。また、事故が発生した場合には、事故の要因や再発防止策を必ず検討するようにしている。食中毒に関しては研修を行い情報共有を行っている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 感染症についてのマニュアルの作成をしている。また、感染症が発生した場合には、保護者や職員に周知をし感染拡大防止に努めている。インフルエンザなどの感染症については家族内の感染者がいる場合にも基本的に登園を控えていただくようお願いしている。各部屋には、感染症についての一覧表を作成している。体調不良児がいた場合は対応マニュアルに沿って対応している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 職員参画でマニュアルを作成し、災害時の対応について共通理解を図っている。年に4回、予告なしの訓練も行い、迅速な対応が出来るように訓練している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		自己評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 標準的な実施方法は各クラスに行動マニュアルとして掲示している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 日々の保育についての見直しや業務についての見直しは、毎月のミーティングで共有している。また、日々改善が必要な点については、職員間で話し合いをするようにしている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 毎月の指導計画については、運動・学習(製作)・音楽(リズム遊び)・食育・健康(生活)・人間関係において全園児、個々の発達状況のみで作成している。クラス計画については、必要なねらいを定め明示し、共通理解を図っている。また、必要な際には、関係機関との連絡を取りながら進めていくようにしている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要 毎月の指導計画については、担当職員だけではなく他の職員の意見も参考にしながら作成をし、それぞれの発達段階に適した見直しを行っている。1週間ごとに主任保育士による評価も行っている。</p>		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要                  全ての園児に対して同じ記録の様式を使用し、細かに分かれた区分によって把握している。毎月のミーティングで職員間での情報の共有を行っている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要                  園児の名前が書かれている書類等については、事務室にあるシュレッダーで処理するようにし、個人情報の記載がある書類については、決められた場所での管理・保管を行っている。6月から新システムのコードモンを導入し、職員、児童1人に対してIDとパスワードを発行している。</p>		

## 福祉サービス第三者評価基準

## 【 保育所版 】

〔H28改訂版〕

## 第三者評価内容評価基準（保育所版）

## A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成	自己評価結果
<p>A① A-1-(1)-①</p> <p>保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>評価概要</p> <p>前年度の各学年の保育過程の反省を考慮し、子ども達に合わせた保育過程を作成している。また、異年齢保育、兄弟児保育、年齢別保育、郷中教育なども取り入れた保育過程になるよう考慮している。異年齢保育では、年齢を問わずに成長できる音楽に力を入れたり、生きる力の基盤として食育にも力を入れたりしている。年齢別グループでは、個々の発達をより促すことのできるように1人の保育士に対し10人前後での活動にシカリキュラムを進めている。</p>	
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	自己評価結果
<p>A② A-1-(2)-①</p> <p>生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>A③ A-1-(2)-②</p> <p>一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A④ A-1-(2)-③</p> <p>子どもが基本的な生活習慣を身につけることかできる環境の整備、援助を行っている。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑤ A-1-(2)-④</p> <p>子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑥ A-1-(2)-⑤</p> <p>乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑦ A-1-(2)-⑥</p> <p>3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑧ A-1-(2)-⑦</p> <p>3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑨ A-1-(2)-⑧</p> <p>障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑩ A-1-(2)-⑨</p> <p>長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>A⑪ A-1-(2)-⑩</p> <p>小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>



評価概要

A② A-1-(2)-①について

- ・増築した部分の温度が高かったために、保育室に壁掛け用の扇風機を設置して改善を行った。他保育室も検討中である。また、子ども達に合わせて保育室のレイアウトを変えるなどし、環境を整えるようにしている。
- ・寝具は業者のものを使用し、シーツも毎日交換を行っている。
- ・7月からは沐浴を開始し、体を清潔に保ち入眠できるようにしている。

A③ A-1-(2)-②について

- ・コドモンにおいて家庭の状況を把握している。
- ・少人数での活動を行う事で、保育士が個々に合った保育を心がけて行っている。
- ・あだ名ではなく、名前に「くん」「ちゃん」を付けて呼ぶように徹底している。
- ・保育士の言葉遣いは、「しなさい」ではなく、「～しよう」という言葉遣いになるように気を付けている。

A④ A-1-(2)-③について

- ・週1で「道徳・文化」というカリキュラムで挨拶や衣服のたたみ方など生活習慣に関することを教えている。
- ・異年齢保育を行っていることで、自然と年上の子を見て学ぶこともある。

A⑤ A-1-(2)-④について

- ・戸外では安全に遊ぶように人数を考え、遊ぶ時間を決めている。
- ・散歩に行くときは交通ルールや地域の方への挨拶、人に迷惑をかけないように過ごすことを目的に行っている。
- ・自己表現ができるように、音楽カリキュラムで体をたくさん動かすなどしたり、集会で発表の場を設けるなどしている。

A⑥ A-1-(2)-⑤について

- ・離乳食の移行の際、個別に面談を行い慎重に移行できるようにしている。
- ・人数や生活習慣を考慮し、レイアウトを変えるなど配慮している。
- ・手作りサークルや手作りおもちゃを作成し、指の運動や記憶を促す活動に繋がっている。

A⑦ A-1-(2)-⑥について

- ・保育室だけでなく、園庭や2階での活動も積極的に取り入れている。
- ・1歳児においては、月齢の高い子どもを中心に、2歳児クラスでカリキュラム（音楽・生活）を行えるように配慮している。
- ・人数や生活習慣を考慮し、レイアウトを変えるなど配慮している。

A⑧ A-1-(2)-⑦について

- ・就学に向けては、授業参観に参加したり、特別支援が必要な子どもについて学校訪問なども行っている。
- ・保育においては、年間カリキュラムをもとに、個別計画を作成し目標を持って取り組めるようにしている。

A⑨ A-1-(2)-⑧について

- ・3か月に1回、臨床心理士の先生に訪問して頂き、気になる子どもを見て頂いている。
- ・気になる子どもについては、保育士間でミーティングで話し合いをもとに、保護者の方と面談を行っている。
- ・専門機関とは送迎の際に情報交換をしたり、必要な場合に電話連絡を行うなどしている。

A⑩ A-1-(2)-⑨について

- ・各クラス引き継ぎノートやコドモン(クラウドシステム)の園内連絡で保育士間の情報交換を行っている。
- ・延長保育においては異年齢で過ごすか、日頃の異年齢の関わりを持たせることで特にトラブルもなく過ごすことができている。
- ・延長保育時のおやつは、基本的に腹持ちの良いおにぎりを提供している。夕食のことも考え量の調節も行っている。
- ・暑い時期は、子ども達の体力などを考慮して、夕方の園庭遊びの時間を減らすなどしている。

A⑪ A-1-(2)-⑩について

- ・就学に向けて、4、5月に年長児を対象に個別面談を行っている。
- ・保育要録に関しては、過去のミーティングで挙げられた事柄も詳細に記載するようにしている。
- ・2月に年長児全員で小学校訪問を行っている。
- ・春から自分の荷物は自分で準備するなど具体的に就学を意識できるように促している。
- ・6月から午睡を基本的になくしている。(午睡が必要な子どももいるので個別に対応している)

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果
A⑫ A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ <b>b</b> ・c
A⑬ A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	<b>a</b> ・b・c
A⑭ A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>評価概要</p> <p>A⑫ A-1-(3)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良や怪我についてはコドモンにて保育士で情報共有し、翌朝保護者の方に再度確認が出来る様になっている。</li> <li>・SIDSに関しては、保護者の方に情報提供はしていないので、参観日での情報提供やコドモンのお知らせ配信にて提供できるように検討中。</li> <li>・午睡チェックを未満児は10分毎、以上児は20分毎に行って表に記入している。</li> <li>・年度が替わる時に、予防接種などの記録のある児童表の提出を保護者の方をお願いしている。</li> </ul> <p>A⑬ A-1-(3)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の内科検診・歯科検診を行っている。結果は個別にファイリングしている。</li> <li>・歯磨き指導を行ったり、食に関心を持てる様に食育活動を行っている。</li> <li>・運動や食育にも重点を置き、カリキュラムを組んで実践している。</li> </ul> <p>A⑭ A-1-(3)-③について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー疾患・慢性疾患のある子どもに対しては、医師の指示書を提出してもらい対応している。</li> <li>・ミーティングや勉強会では、栄養士より知識や情報を得たり、アレルギー対応食への提供について検討を重ねている。</li> </ul>		
A-1-(4) 食事		自己評価結果
A⑮ A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	<b>a</b> ・b・c
A⑯ A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	<b>a</b> ・b・c
<p>評価概要</p> <p>A⑮ A-1-(4)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間で食育計画を作成し、週に1回食育の計画を取り入れている。</li> <li>・栄養士や調理員は子どもたちと一緒に昼食を摂り、食の進み具合や感想を聞いて献立に活かしている。</li> <li>・年齢に合った適量を提供し、おかわりをする事で一人ひとりに合った量を食べている。</li> <li>・配膳や片付けも自分たちで行っている。配膳は年中・長児が当番制で行っている。</li> <li>・提供した食事の写真を夕方までに玄関横のホワイトボードに掲示し保護者に知らせている。</li> <li>・保育参観日の際には給食の試食を提供して栄養士などと意見交換が出来る様になっている。</li> </ul> <p>A⑯ A-1-(4)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食欲の落ちる時期は、さっぱりしたものを提供したり、運動会時期などは食欲も増すのでご飯の量を増やしたりしている。</li> <li>・鶏飯などの地域食や行事食（七夕・節分・ひな祭りなど）を提供している。</li> <li>・ご飯の量は残食や子どもの様子を見て、増やす対応をしている。</li> </ul>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果
A⑪ A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭と連携を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コドモンを活用し、日常の様子を家庭と園両方で把握し合っている。</li> <li>・コドモンにて月のカリキュラム一覧をお知らせしている。</li> <li>・子どもの成長に応じて面談を行ったり、ミーティングで気になることがあれば、個別に話す時間を設けている。</li> </ul>		
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果
A⑩ A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑲ A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要</p> <p>A⑩ A-2-(2)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニットハウスの設置により、周りを気にせずに相談できる体制を取っている。</li> <li>・今年の迎えの状況を把握したうえで、業務時間をずらし保護者対応できるようにした。</li> <li>・相談をうけた保育士は、ミーティングで議題をあげ、施設長などにアドバイスをもらうようにしている。</li> </ul> <p>A⑲ A-2-(2)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の受け入れの時、直接保護者の方から子どもたちをお預かりし視診を行っている。</li> <li>・家庭での怪我があった場合には必ず尋ねるようにしている。</li> <li>・定期的な職員研修は行っていないため、実施努力を行っている。</li> </ul>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		自己評価結果
A⑳ A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月の指導計画にて、毎月自己評価を行っている。</li> <li>・年間で4回、事例発表を行うように計画している。その際、施設長などのアドバイス受けたり質疑応答で保育士間の意見交換を行っている。</li> <li>・具体的に自己評価できていない保育士もいるので、適切に評価できるように整備していく。</li> </ul>		